

高松市立 みんなの病院

基本理念 生きる力を応援します

基本方針

- 1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2『安全で良質な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3『まごころのある医療人』を、全力で育成します。
- 4『地域とのつながり』を大切に、みんなの暮らしを支えます。

地域医療連携だより 9 月号 創刊号



開院ご挨拶

「高松市立みんなの病院」は、平成21年策定の高松市新病院構想から9年の時を経て、高松市民病院と香川診療所を統合、高松市仏生山町に新築移転し、平成30年9月1日に開院を迎えることができました。移転に伴い、外来診療の休止や移送運搬など、多くの医療機関や近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げますとともに御協力に感謝申し上げます。また統合移転を機に一般公募により「高松市立みんなの病院」に改称しました。

今後、提供する医療をより一層充実させ、急性期医療に加え地域医療の確立に貢献し、当院の基本理念である「生きる力を応援します」の実現に向けて、高松市医療全体の最適化のためのリーディングホスピタルを目指します。

診療機能については、従来からの救急医療、がん医療、小児・周産期医療、感染症医療、精神科医療、人間ドックや疾病予防、へき地医療に加え、各方面からの強い要望がありました歯科口腔外科を新設し貢献してまいります。

がん医療については、香川県内4台目となるPET-CTの他、最新の放射線治療装置や高性能のMRIを新たに導入し、診断の精度向上や治療にさらに注力していきたいと考えています。また、緩和ケア病床を活用し適切な医療を提供いたします。

救急医療については、新たに救急科及び救急病棟を設置し、全診療科の医師及びスタッフ連携のもと、最善の医療が迅速に提供できるよう整備いたしました。

災害に対しては、懸念されている「南海トラフ巨大地震」をはじめ、様々な災害に対応できるよう屋上にヘリポートを整備し、広域災害時にDMATチームをいつでも派遣できるよう準備を整えています。

また、第二種感染症医療機関として感染症病床6床を設置し対応いたします。

地域包括ケア等の「後方支援機能の強化」としては、地域包括システムの構築に向けて、地域包括ケア病棟を設置しており、急性期を脱した患者さんや自宅や介護施設等からの緊急患者の受け入れ、在宅復帰支援等を行なっています。

紹介・逆紹介に関わる窓口業務や開放病床の運用、登録医制度による地域医療機関との連携窓口、また、患者さんの入退院支援や在宅復帰支援、医療福祉相談などを一元的に提供できるよう「地域医療・患者支援センター」を整備しました。

病室については全病室の約半数を個室にするなどサービスやアメニティの向上に努め、患者さんのニーズに応えていきたいと考えています。

今後は「高松市立みんなの病院」として、今まで以上に皆さんに信頼され親しまれ、名称のとおり「みんなの病院」となれるよう、職員一同、一丸となり努力していく所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



高松市病院事業管理者
(高松市立みんなの病院長)
和田 大助

診療科紹介 放射線科・放射線技術科

当院は平成30年9月1日より従来使用していた1.5テスラMRIの2倍の磁場強度を持つ3テスラMRI装置を新たに稼働いたしました。この装置は、静磁場強度がこれまでの2倍になることで高い信号強度が得られ、加えて受信コイルの感度がより高くなったため信号雑音比が大幅に向上し、高解像度、高画質な画像が得られるようになりました。

従来の装置よりガントリーの口径が大きくなったことで患者さんの圧迫感による不安軽減が期待できます。また、高速撮像も可能になり息止め時間の短縮や救急時の撮像が迅速に行えるようになりました。

診断に有用な良質な画像を地域の皆様にご提供いたします。

また、PET-CT検査による診断を開始しました。

PET検査は「悪性腫瘍が正常細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込む」という性質を利用します。ブドウ糖によく似た放射性同位元素（ ^{18}F -FDG）を注射し、その集積を撮像して、悪性腫瘍の位置、病変の広がりなどを調べることができます。

PETの利点は、1回の検査で広い範囲を調べることができ、静脈に検査薬を注射し安静にするだけの苦痛の少ない検査で、悪性腫瘍の広がりや再発、ブドウ糖の利用などから悪性度診断や治療効果判定が可能なところ。CT、MRIだけでは診断困難な場合や治療後に腫瘍マーカーが上昇して再発が疑われるが従来の検査で指摘困難な場合などにPET検査は有用です。

このPETの撮像と、細かな臓器の位置情報を検出するCT画像を重ね合わせることで、診断精度を高めているのがPET-CTです。

がんの早期発見・がん病変の広がり診断などに寄与し、益々地域の皆さんの健康に貢献したいと考えています。

今後、地域の先生方が地域共有の高度医療機器としてご利用されることを願っています。

最後に当院に導入された放射線治療装置および関連機器について紹介させていただきます。

放射線治療は、手術療法、抗癌剤治療と並んで癌治療の三本柱の一つとなっています。それは癌病巣に放射線を当てがんを死滅させる、あるいは、がんが増殖する能力を奪うという治療法です。放射線治療は正確に腫瘍に向かって放射線を当てる事が必要です。しかし、腫瘍の場所はからだの中にあるので、これまでの放射線治療装置では簡単には確認できませんでした。この度導入の本装置には、CTスキャン、X線撮影装置、画像解析装置が内蔵されており、治療時に照射部位を治療装置でCTやX線撮影をし、画像解析後短時間にずれを補正して正確に照射します。

放射線治療計画専用CTは、東芝AquilionLBを導入しました。LBとはLarge Bore（ラージボア）の略で、開口径（内径）900mmを実現した16列マルチスライスCTになります。画像化領域が診断用のCTに比べ広いため、放射線治療計画に重要な、体表面まで確実に含んだ撮影が可能です。Large Bore CTは、ポジショニングの自由度が広がるため、患者固定具を使用した撮影や通常の体位が困難な場合の撮影時などに大きな威力を発揮します。

安全で安心できる放射線治療の提供を目指して参りますので、先生方におかれましては、適応の患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介していただければと思います。

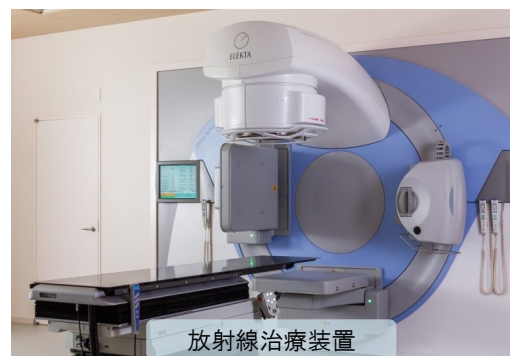
今後ともどうぞよろしく願いたします。



3テスラMRI装置



PET-CT



放射線治療装置

(文責 林 義典)

診療科紹介 歯科口腔外科

この度、高松市民病院の新築移転にあわせて、歯科口腔外科が開設となります。日本口腔外科学会専門医・指導医1名と歯科衛生士2名で診療に従事します。

歯科口腔外科では、一般的な歯科治療は行わず、かかりつけ歯科医院では対応困難な症例や手術が必要な患者さんを歯科開業医、地域の医療機関の先生からご紹介いただき、入院治療も含めた専門的な治療を行っていきます。つまり、一般歯科開業医との役割分担を明確にし、一般歯科医院で治療可能な、虫歯・歯槽膿漏・義歯などの治療は、有病者や心身障害者を除いて原則行わずに、口腔外科疾患を対象として治療に従事します。

対象となる診療内容としては、埋伏智歯の抜歯、歯や顎骨骨折などの顎顔面領域の外傷治療、歯源性腫瘍や口腔癌の治療、顎変形症の治療、歯に起因する顎顔面領域の炎症、顎関節症の治療、インプラントの埋入や上顎洞底挙上術などの骨造成術、有病者の歯科治療です。

また、周術期の入院患者さん、化学療法を行う全患者さんの口腔機能管理を実施することにより手術する場合の、口腔内トラブルや誤嚥性肺炎・感染症の予防、化学療法・放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔感染等に対するがん治療の支持療法を行います。退院後は地域の歯科医療機関と連携し口腔機能管理を行うため、地域の先生方との連携を充実させていきたいと考えています。

患者の皆様安心して安全な医療を提供するため、十分な説明を行い、皆様が納得して治療を受けていただけるよう心がけていきます。当科では地域医療機関との連携を推進し、原則紹介制とさせていただきますので、高松市近隣の医療機関の先生方にはお手数をおかけしますが、紹介状を作成していただければ幸いです。

高松市の地域医療に貢献すべく努力して参りますので、今後ともご支援をお願いいたします。

(文責 高丸 菜都美)



高松市民病院 病院感謝祭

平成30年7月21日(土)2階玄関ロビーにて、1903年に開院以来、長年親しんでいただいた地域住民の皆さまへ感謝の意を込め、患者サービス向上委員会主催の“病院感謝祭”を開催いたしました。

前半の健康教室では、整形外科医師 森本先生から「腰痛について」の話の後、理学療法士が陣頭指揮をとり腰痛予防体操を参加者とともに行いました。



後半のコンサートは、高松市文化芸術振興課と協同で、新病院移転に伴う行事をきっかけに芸術に触れていただこうと、ホスピタルアート事業を本年度3回企画した第1回目として、瀬戸フィル交響楽団・弦楽四重奏の方々に来ていただきました。よく耳にしたことのあるクラシックの本格的な演奏とアンコール曲も含めた全12曲の弦楽器の音色に、入院患者さんや地域住民の方々も心安らぐひとときを過ごされたことと思います。



9月からは仏生山で“みんなの病院”として、市民の皆さまや闘病生活を送る方々の癒しや活力に繋がるよう活動していく所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます。

(患者サービス向上委員会)

高松市立みんなの病院の開院にさきがけ開院式典を開催！

がん医療や災害医療などに重点を置き、高松市の地域医療の中心的な役割を担う拠点病院となる「高松市立みんなの病院」が完成し、8月5日（日）に医療関係者や地元住民の代表者ら約130人が出席するなか、開院式典が盛大に執り行われました。



大西市長



高松市議会
二川議長



高松市医師会
神内会長



和田高松市民病院長



全国自治体病院協議会
邊見名誉会長



徳島大学大学院
苛原医歯薬学研究部長

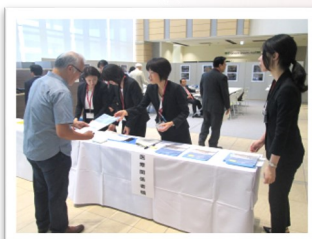


塩谷高松市病院事業管理者

新病院の名称は、「多くの皆様方に信頼され、親しまれ、市民の皆様と共に歩いていく病院でありますように」と願いを込め「高松市立みんなの病院」としました。

老朽化した市民病院と香川診療所を移転統合し、ことん仏生山駅南側の県農業試験場跡に整備したみんなの病院は、震度6強の地震に耐えられる免震構造の鉄筋鉄骨コンクリート造り6階建て、延べ床面積は約2万7300㎡、総事業費は約200億円となっています。

同日午後に行われた一般向け内覧会は、完成を祝い、開院を待ち望む約2,400人もの方に訪れていただき大盛況でした。



(新病院整備課)

地域医療・患者支援センター

いつも病診病連携の構築にご協力いただき誠にありがとうございます。

地域の医療機関と当院を結ぶ窓口として、紹介・逆紹介をはじめ入退院支援、転院・医療福祉相談等を一元化して行なうことで、患者サービスの向上を図るため、「地域医療連携室」と「入院センター」を統合し「地域医療・患者支援センター」を新設しました。

新たな体制のもと頑張る所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(地域医療患者支援センター)

塩江分院1階ロビーで健康教室を開催しました

平成30年7月19日（木）に塩江分院1階ロビーにおいて、関貫院長による、認知症予防に関する「頭の体操～折り紙教室～」を開催しました。いつもは肩苦しい講義形式で行われがちな健康教室ですが、ざっくばらんに診療の合間で待合にいる方々や、患者送迎バスを待っている方々、塩江町の有線放送で呼び掛け参集していただいた方々など計10数名で膝を突き合わせる形で開催しました。「折り紙やけど難しいな。」・「先生ここからどうしたらいいやろか。」など和気あいあいの雰囲気の中で開くことができました。

今後も、空き時間をとらえ、患者さんに親しまれる病院になるよう知恵を絞る所存でございます。

院内健康教室の第2回目を、1階ロビーにて、9月19日（水）午前10時30分から30分程度で、関貫院長の「高血圧と動脈硬化・脳卒中について」の講演を開催しました。



（塩江分院）

高松市立病院学会 特別講演のご案内

（第56回 地域医療連携セミナー）

◆ 日 時 平成30年10月13日（土） 14：15～15：15

◆ 場 所 高松市立みんなの病院 みんなのホール

◆ 特別講演 「外科の矜持」

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

消化器・移植外科学 教授 島田 光生 先生

1984年 九州大学医学部卒業

1987年 米国ピッツバーグ大学移植外科（Prof. Starzl）

2004年 現職

消化器癌発生学会理事、移植学会理事

（代議員）日本外科学会、消化器外科学会、肝臓学会、

消化器病学会、癌治療学会、癌学会

◆ 日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード 1. 医師のプロフェッショナリズムを取得いただけます。

◆ 事前申し込みは不要です。直接、みんなのホール前セミナー受付にお越しください。

【お問合せは】

高松市立みんなの病院 地域医療・患者支援センター セミナー担当者まで

（087-813-7171 代表）

講師略歴



島田 光生 先生

第57回 地域医療連携セミナーのご案内

日時

平成30年11月21日（水）午後7時から
（1時間半の予定）

事前申し込みが必要です

場所

高松市立みんなの病院 みんなのホール

◆ 日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード
（60.腰痛、15.臨床問題解決のプロセス）を
取得いただけます。

演題

1 「腰部脊柱管狭窄症に対する治療」
整形外科 副院長 長町 顕弘

◆ 当日は軽食をご用意しております。

2 「PET/CTについて」
放射線科 医長 原田 太平

【お問合せは】
高松市立みんなの病院
地域医療・患者支援センター
セミナー担当者 まで

『医療・介護関連施設職員研修会』開催

第52回



日 時：平成30年7月26日（木）

テ マ：認知症について一対処法と運動療法一

担 当：理学療法士 川口 悦子

参加人数：37名



ご参加ありがとうございました

日 時：平成30年8月9日（木）

テ マ：高齢者と糖尿病

担 当：糖尿病看護認定看護師 日下 由美子

参加人数：20名




第53回

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます。



FAX予約をお願いします



受付時間 平日（月～金）午前 8時30分～午後 6時00分
電 話 (087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
F A X (087)813-6799(直通)
0120-834-224(フリーダイヤル )
※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ
事前にFAX予約をお願いいたします。
「高松市立みんなの病院FAX診療申込書」をご利用ください。